

研修だより

平成30年4月16日

No. 2

生保内小学校 研修部



新年度がスタートして、早2週間！

明日は全国学テ、そしてあさってにはPTA参観日がありますが、それ以後はじっくり子ども達に向き合い、授業実践を進めていくことができるかと思えます。

PTAに合わせて、2種類の「学びのやくそく（学習用具）」「家庭学習の手引き」を「まなびっこつうしん」と一緒に配付します。懇談の際に触れて、周知と理解を図ってもらえると助かります。

5月の研修



1 5月の研修計画（研修日・出張等）

期日	曜日	研修名・内容・参加者等
7日	月	全体研修会Ⅱ（年間指導計画・全体計画の確認等）
8日	火	新任校長研修講座Ⅰ（センター）
9日	水	特別支援教育支援員研修（浅舞公民館）
11日	金	安全管理指導者研修会（総教セ）
23日	水	確かな学力向上推進会議Ⅰ（浅舞公民館）
29日	火	全体研修会Ⅲ（指導案検討会）

2 研修事項

①「思考力・表現力」の向上を意識した日々の授業実践→「学び合い」の場を通して

*「思考力」「表現力」の向上のために、日々の授業の中で、どの場面で、どんなふうに取り組んでいくのか。

☆「ちょこっと研修だより」でお知らせしましたが…

「思考力」「表現力」を高める一つとして、「学び合える学級づくり」が大きなポイントになるそうです。4月の実践事項の

子ども一人一人や学級全体の実態の把握

学習の約束を確認し、定着に結びつける指導

と関連させて、チェックリストを用いて、今の学級の状態をチェックしてみてください。

②生活科・総合的な学習の時間の年間指導計画の立案と実行

*子どもの思いや願いを大切にしつつ、付けたい資質・能力の育成を目指した取組は？

③チャレンジタイム、チャレンジテスト、家庭学習の取組

*基礎学力の定着と向上に向けて…5月からチャレンジテストが始まります。

・「～タイム」→掃除終了時刻を守り、10分間を集中して取り組めるように…

- ・「～テスト」→出題内容・範囲の提示
- ・「家庭学習」→まずは、「全員提出」そして「ノートの使い方の確認」を…
*まもなく「ひとべんみるディ」を始めます。週案で確認して下さい。
- ・「家庭学習強調週間」の設定を！
*チャレンジテストに合わせて

3 学習指導

① 5月の目標

学習のルールやマナーを守り、友達と学び合い、学習に取り組もう！

② 実践事項と具体的な取組

ア)「学習のルールやマナーを守り～」

→ルールは、4月に確認したことが継続できるように身につくまで辛抱強く

イ)「友達と学び合い～」

→キーワードは…「分かる」→「話す(伝える)」→「身に付く」

☆重点実践事項

◇子どもどうして「つなぐ」力の育成◇

- ・子どもが発表した内容を…
 - ①即座に教師が判断(ジャッジ)するのではなく、他の子どもに確認をする。
 - ②他の子どもにもう一度、何を話したのか言わせる。
- ・子どもが発表する際には…
 - ③わざと途中で止めて(区切って)、その続きを他の子どもに言わせる。

*「学び合い」は、どの教科でもできます。教師対子どもの一対一のやりとりで完結するのではなく、子どもたちどうしのかかわり・やりとりを、教師側がいかにコーディネートしていくかがポイントになります。先生方の得意な教科でどんどん実践してみてください。

③ 参考実践例

ア)について

- 「学びの記録」の中の「学びのやくそく」をチェック欄を活用する。(年5回分)
- 「マナー」については、子どもたちどうしの様子や子どもたちの中から出たものから、話し合いなどを通して、気付かせたり、取り組ませたりする。

イ)について

- 教室内の座席の配置を工夫する。 *学習形態の工夫
例)コの字に配列し、互いの顔が見合えるようにしてみる。
→「伝える」相手を無意識に意識することにつながります。
- ネームプレート等を用いて、シャッフルで指名する。 *指名の工夫
例)拳手をする子どもに指名するのではなく、くじ引き感覚で行う。
→緊張感をもって授業に臨むことができ、「伝えよう」「伝えなければ」という意識になります。

4 そのほか(お願い等)

① 教室内掲示物について

② 「総合的な学習の時間」について *時数・内容等

(時数) 年間70時間で計画・設定していくのか。

(内容) 昨年度までの取組(例:4年生で行ってきたチャールハン販売)をどう継承していくのか。発達段階を踏まえ、学年が進むにつれてステップアップしていくように、どのような内容で、どの程度のレベルのものに取り組んでいくのか。

③ その他